

経営比較分析表（令和元年度決算）

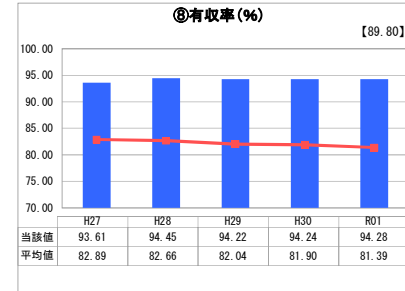
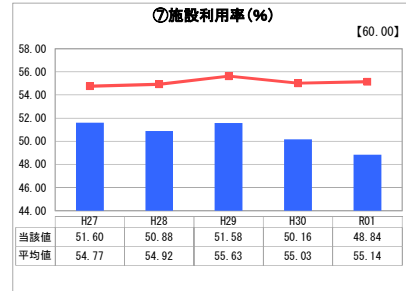
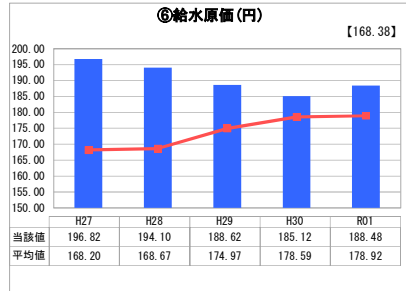
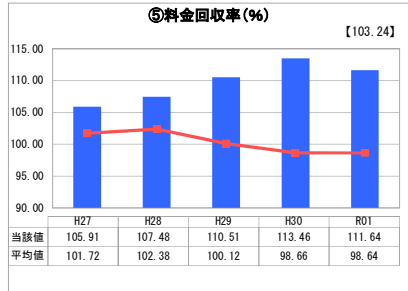
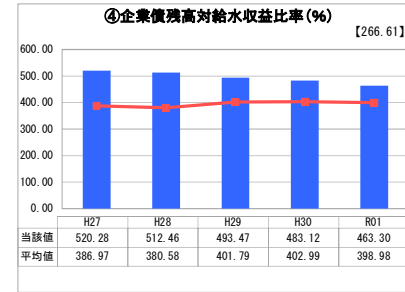
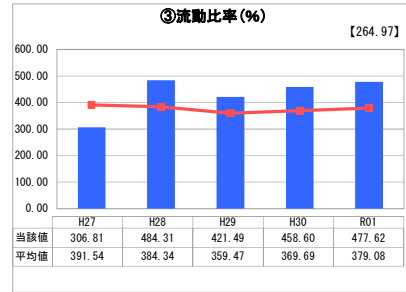
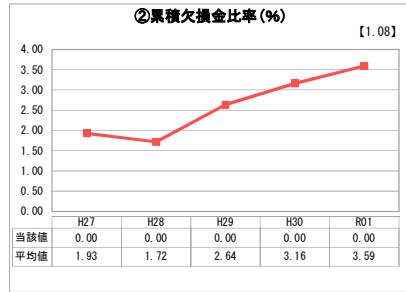
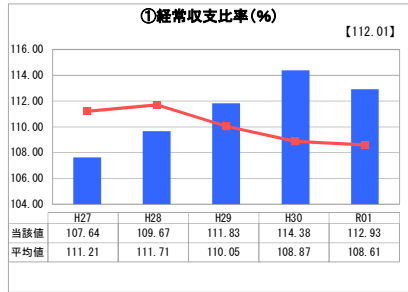
石川県 羽咋市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A6	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金 (円)	
-	64.82	96.12	3,905	

人口 (人)	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
21,324	81.85	260.53
現在給水人口 (人)	給水区域面積 (km ²)	給水人口密度 (人/km ²)
20,340	81.85	248.50

グラフ凡例
■ 当該団体値 (当該値)
— 類似団体平均値 (平均値)
【】 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①②収支は黒字で推移し、類似団体の平均値も上回っている。また、累積欠損金は発生していないが、人口減少に伴う料金収益の減少が見込まれることから、更なる経営改善に取り組む必要がある。

③100%を上回っており、短期的支払能力は確保されているといえる。

④平成28年度に基幹施設の更新事業が完了し、その後の企業債残高比率は減少傾向である。

⑤⑥現在は給水にかかる費用を料金収益で賄えているが、今後人口減少に伴う給水収益の減少を鑑み、一層のコスト削減に取り組む。

⑦類似団体、全国平均ともに下回っているため、今後の水需要の動向を慎重に見極めたうえで施設規模の見直しを検討する必要がある。

⑧指標は、類似団体の平均値より上回っているが、漏水対策や老朽管更新を進め、有収率の向上を図っていく。

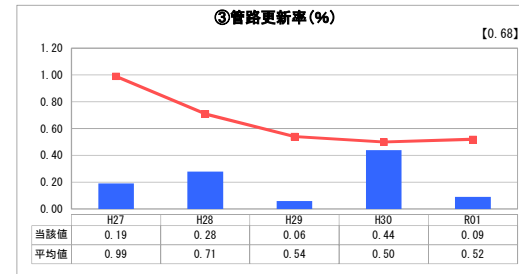
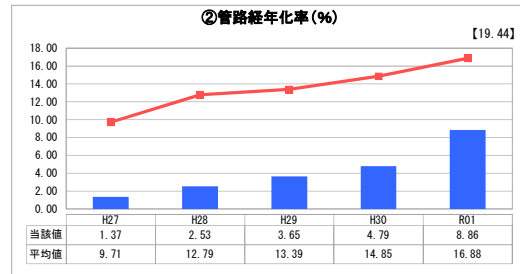
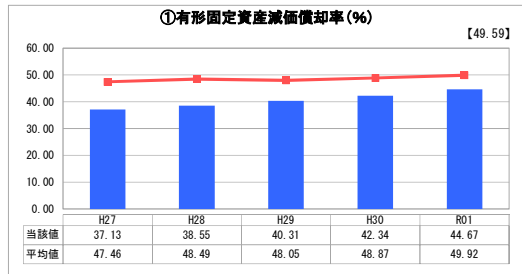
2. 老朽化の状況について

①類似団体よりも低い水準にあるが、増加傾向にある。今後、耐用年数を迎える施設が増加していくことが予想されるため、新水道ビジョンをもとに更新計画を進め、経営のバランスを取りながら長寿命化に取り組んでいく必要がある。

②平均値を大きく下回っており、法定耐用年数を超えたものは、類似団体と比較して少ないものの、今後とも法定耐用年数を超えた管路の布設替えを推進していく必要がある。

③類似団体と比較すると低い状況にあるが、計画的に管路の更新を行っており、今後とも計画に基づいて更新事業を進めていく。

2. 老朽化の状況



全体総括

当市の水道事業の経営は概ね安定しているといえるが、後は人口減少による料金収入の低下が見込まれるとともに、老朽施設や設備の更新を行わなければならないため、厳しい財政状況になると予想される。

その上で施設の維持管理等については、費用と経営状況を正確に把握し、健全・効率的な経営を維持するよう、中長期的な計画をたて、実施していく必要がある。